

令和5年度 大阪府立高槻支援学校 学校教育自己診断アンケート 集計結果とまとめ

1 アンケートの対象と集計数

- ① 対象： 保護者・教職員を対象に実施いたしました。
- ② 項目数・内容： 保護者アンケートについて22項目にて実施しました。
- ③ 提出率： 保護者 57.1%（昨年度：67.2%） 教職員 90.6%（昨年度：79.3%）

2 保護者の回答分析と、前年度との比較

保護者の回答を分析した結果、肯定的な回答80%以上の項目が23項目中15項目（うち90%以上が9項目）となり、本校の教育活動をおおむね肯定的にとらえていただいています。令和4年度と比べて傾向などに大きな変化はみられませんでした。90%以上の9項目は次のとおりです。

【肯定的評価が90%以上の項目】

- ・ 子どもは学校に行くことを楽しみにしている。(91.3%)
- ・ 教員は専門性の向上に努めている。(92.8%)
- ・ 保護者のニーズを踏まえている。(92.7%)
- ・ 学校生活の様子を知ることができている。(94.7%)
- ・ 通知表はわかりやすく工夫されている。(92.8%)
- ・ 事故・災害時の緊急連絡等を迅速に発信している。(90.3%)
- ・ 個別の支援計画及び指導計画の説明とニーズ対応。(95.6%)
- ・ 個別の支援計画及び指導計画に基づいた指導。(90.9%)
- ・ 通学バスがスムーズに運行されている。(90.8%)

学校行事や参観等で学校に来ていただく機会が従来通りに戻りつつある中で、コロナ禍における自己診断結果の傾向である「わからない」という回答がわずかに増加しました。中でも安全面・衛生面の整備に関する項目が40.2%あり、自由記述の中にも建物の老朽化に関する意見が多く見られ、対策が必要であることがわかりました。

3 保護者と教職員の回答比較

保護者と教職員の回答を比較分析した結果、教職員より保護者の肯定的評価が5ポイント以上高かった項目は6項目あり、いずれも教育の充実に向けて校内で進めてきた取り組みについての項目でした。

【肯定的評価が“保護者>教職員”となっている項目】

- ・ 教員は専門性の向上を図っている（差8.6%）
- ・ 通知表はわかりやすく工夫されている（差22.4%）
- ・ 個別の支援計画及び指導計画の説明とニーズ対応（差12.2%）
- ・ 個別の支援計画及び指導計画に基づいた指導（差5.3%）
- ・ 子どもが楽しむ・運動するための環境整備（差19.7%）
- ・ HP等による積極的な広報を行っている（差19.9%）

反対に、保護者に比べて教職員の肯定的評価が5ポイント以上高かった項目は次の4項目（令和4年度10項目）あり、学校運営上、留意が必要であることがわかりました。中でも、「学習指導」「ICT活用」に関する2項目は保護者の「わからない」という回答が多く見られており、今後も継続して知っていただく取組みが必要であることがわかりました。

【肯定的評価が“保護者＜教職員”となっている項目】※は、保護者の「わからない」という回答

- 子どもが学校を楽しんでいる（差 5.8 ポイント）
- 子どもにとって授業がわかりやすく楽しい（差 9.0 ポイント）※12.4%
- 相談への対応は適切である（差 7.9 ポイント）
- ICT 環境の整備に努め積極的に活用している（差 18.4 ポイント）※30.3%

4 記述による回答

- 学習指導に関すること
- 参観等に関すること
- 教員の専門性の向上に関すること
- 施設・設備に関すること